

ASK ニュース

Vol.0183

2015年12月7日(月)
担当：MS事業部 松村

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

キャッシュ・フローの重要性

はじめに

キャッシュ・フローとは何か？経営者もそうでない方もご存じだと思います。そうです。お金の流れの事です。

会社を経営する上では、最重要ポイントです。会社を人に例えるなら、キャッシュは血液に当たり、これが枯渇すると再起不能になってしまいます。

決算書とキャッシュ・フロー

黒字倒産という言葉が聞かれたことはあるでしょう。会社の決算書は黒字だが、倒産してしまうということです。決算書には、キャッシュの流れが反映されないためです。

例えば、売上で見ると掛け売上がそうです。決算書には反映されますが、キャッシュ・フローでは、まだお金を受け取っていません。このため、決算書は黒字だが、支払いに充てる資金が不足して倒産してしまうということです。つまり、キャッシュが枯渇すれば、事業継続が出来なくなります。

キャッシュ・フロー改善

原則1 キャッシュ・インは多く

商品販売は得意だが、代金の回収はいい加減になっていませんか？未回収債権は、

要注意です。

原則2 キャッシュ・インは早く

商品代金の受取りは、納品時ですか？納品まで長期間となる場合は、手付・中間金をもらうことを考えましょう。

原則3 キャッシュ・アウトは少なく

仕入業者の相見積もり、仕入をインターネット注文するなど、経費削減を行いましょ。

原則4 キャッシュ・アウトは遅く

支払は、出来る限り遅くすることが鉄則です。しかし、仕入れ先などに迷惑をかける程度にする必要があります。やりすぎには注意しましょう。

終わりに

自社のキャッシュの動きを把握されていますか。まずは、売上関係からチェックしてください。金額の妥当性、回収期間、不良債権などです。

不明点は、ASKまでご相談ください。



